



小売業横ばい、建設業、卸売業、製造業、サービス業悪化

平成 29 年 10 月～ 12 月 中小企業景況調査 結果報告書

当所では、藤枝市内小規模事業所の経営動向を把握するため、四半期ごとに景況調査を実施しています。平成29年10月～12月期の調査がまとまりましたので、概要を報告します。
 ※本調査は、製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業の5種200社を対象に行っています。今回の回収率71.5%

【主要な表現について】

○業況判断:調査対象企業が自らの業績に下した判断。 ○DI値:(増加・好転と回答した割合)－(減少・悪化と回答した割合)
 悪化すればするほどDI値は▲(マイナス)になります。

管内全産業の業況

業況判断の動向(表1):全産業での業況は、DI値▲19.7で前回(H29年7月～9月)より9.3ポイント悪化。今回は小売業が横ばい、他業種は悪化しました。今回特に悪化した建設業では受注・新規契約工事額が減少しており、今後の経営課題として請負単価の低下・上昇難への対応があげられました。

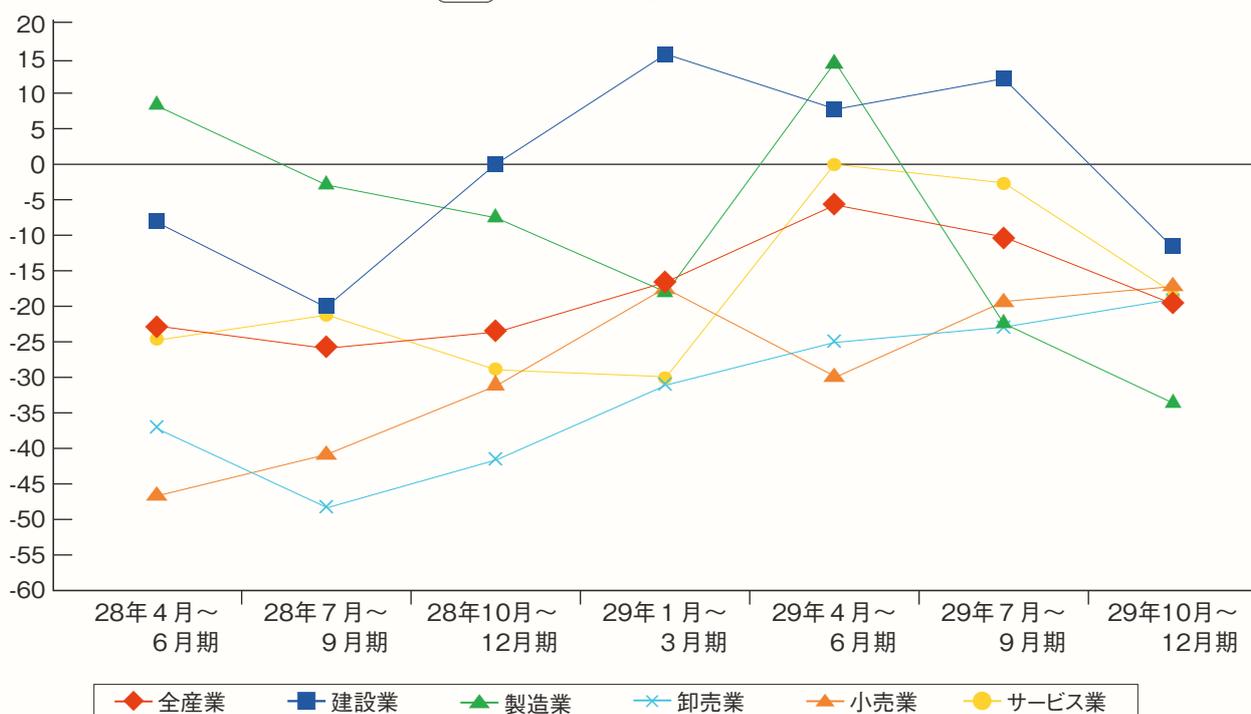
全産業売上高の推移:前回(H29年7月～9月)より全体で5.4ポイント悪化しました。

全産業資金繰りの動向:前回(H29年7月～9月)のDI値から10.6ポイント悪化しました。

全産業採算の動向:前回(H29年7月～9月)より全体で8.6ポイント悪化しました。

全産業雇用人員の動向:今回は16社が増加したと回答し、前回(H29年7月～9月)のDI値から3.1ポイント改善しました。

表1 業種別業況判断の動向



問合せ先 藤枝商工会議所 経営支援課 TEL: 054-641-2000